

# 下野市立 南河内小中学校

公立学校施設整備国庫負担金（統合）

- ・校舎 RC造（一部鉄骨造）3階建て 6,107.07 m<sup>2</sup>
- ・屋体 RC造（一部鉄骨造）平屋建て 617.7 m<sup>2</sup>

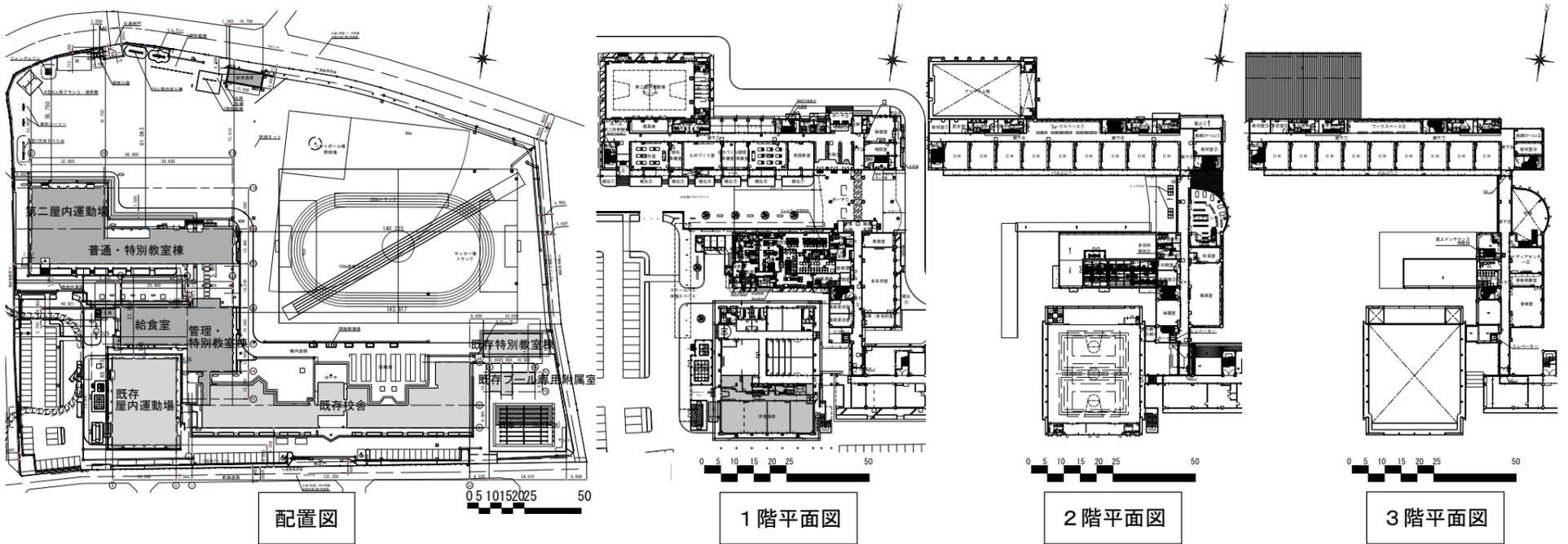
学校施設環境改善交付金

（屋外教育環境、単独調理場（新增築、改築））

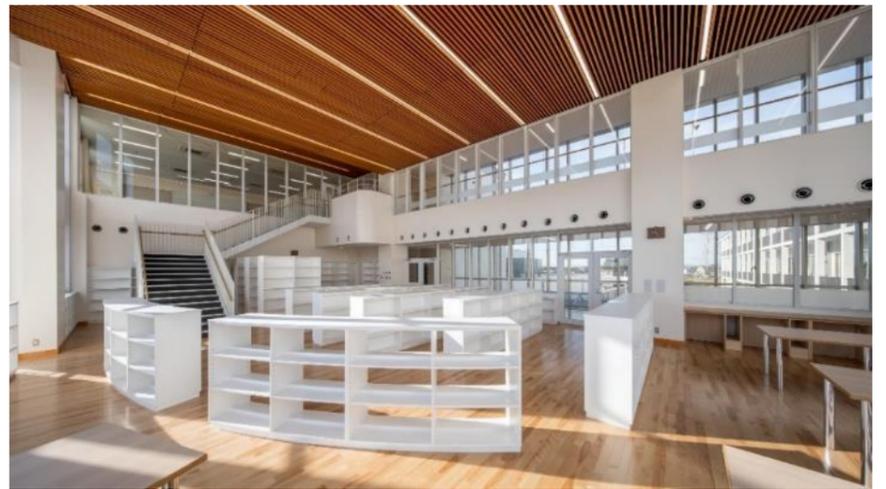
- ・給食室 RC造平屋建て 514.29 m<sup>2</sup>

南河内小中学校は、平成25年11月に策定した「下野市学校適正配置基本計画」に基づき、旧南河内中学校校区において中学校1校と小学校3校を統合し、令和4年4月に市内初の義務教育学校として開校したものである。

旧南河内中学校敷地内に、小学校3校を統合するために必要な教室、第二屋内運動場、給食調理場を建設した。正門からグラウンドに抜ける通りは、学年間の交流を促進し、かまどベンチを設置することで、災害時の防災拠点としての活用ができるようにした。外観は、下野薬師寺をイメージとしたグリッド状のパターンで構成した白色の壁面に、アクセントとして、市の花であるユウガオの実と旧南河内町の木であるモミジをモチーフとした色を組み合わせたものである。新校舎と旧校舎の中央にはメディアセンターを配置し、吹き抜けのある広々とした空間に、木ルーバーの天井を設置することによって、木材の持つ調湿性、温もり、風合いを活かした落ち着いた空間とした。



校舎南西外観



メディアセンター



給食室



第二屋内運動場